

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からののお知らせはホームページにも掲載しています)

第3回日韓若手シンポジウム報告

若手会員の会運営委員会委員 宮坂 史和 (大阪大学)

The 3rd KWJS-JWS Joint Symposium of Young Researcher

韓国ソウルにて開催された IWJC-Korea 2007 に併せて、日本-韓国の若手の溶接研究者によるシンポジウム「The 3rd KWJS-JWS Joint Symposium of Young Researcher」が 2007 年 5 月 10 日に催されました。このシンポジウムの報告を以下に記します。

The 3rd KWJS-JWS Joint Symposium of Young Researcher

今回のシンポジウムは、下記の要領で開催されました。

日時：2007 年 5 月 10 日 (木) 11:00 ~ 15 :50

場所：ソウル COEX 3 階

310A+B (午前), 311B+C (午後)

プログラム：

Opening Address

ChangWoo Lee (KITECH), S. J. Na (KAIST)

(1) Micro Keyhole Welding of Mg Alloy - GA Steel by Single Mode Fiber Laser

Seo-Jeong Park, Ph.D.

Research Institute of Industrial Science & Technology

(2) Microstructure and Mechanical Properties of Friction-Stir-Welded Ultra Fine Grained Steel

Seung Hwan C. Park, Ph.D.

Material Research Laboratory, Hitachi, Ltd.

(3) Seam Tracking and Wireless Control System in Pipeline Welding Equipment with Pulse Welding Process

Sung Hoon Ko, Ph.D.

Automation Reserach Department,

Hyundai Heavy Industries Co. Ltd

(4) Development of a GMA Multi-pass Welding Process Model - Study of High-speed Calculation algorithm -

Fumikazu Miyasaka, Ph.D.

Department of Adaptive Machine Systems,

Graduate School of Engineering, Osaka University

(5) Efect of Weld HAZ Softening on Tensile Strength of Welded Joint with Weld HAZ Softening

Gyu-Baek An, Ph.D.

Joining Research Group,

POSCO Technical Research Laboratories

(6) Local Melting and Cracking in Mg-alloy Spot Welds

Motomichi Yamamoto, Ph.D.

Department of Materials Mechanical System Engineering,

Hiroshima University

(7) Intermetallic Compounds Behavior at laser Overlay Interface of Aluminum and Fe-based Powder

Nam-Hyun Kang, Ph.D.

Department of Materials Science & Engineering,

Pusan University

(8) Development of Plasma-Arc Hybrid Welding Technology

Muneo Matsushita, Ph.D.

Steel Research Laboratory, JFE Steel Corporation

(9) Intermetallic Compounds Behavior and Composition Control of Sn-3.0Ag-0.5CU Lead-free Solder Bumping made by Two Binary Electroplating

Chang Woo Lee, Ph.D.

Advanced Joining Technology Team,

Korea Institute of Industrial Technology

(10) A Simulation Model of High Speed MAG Welding on Thin Plate

Yosuke Yamazaki, Ph.D.

Technical Research Institute, Hitachi Zosen Corporation

Closing Remarks

Yutaka S. Sato (Tohoku Univ.), Chang Woo Lee (KITECH)

本シンポジウムは、JWSとKWJSの若手研究者の交流シンポジウムとして開催され今回で第3回目を迎えました。今年度はIWJC-Korea 2007 (International Welding/Joining Conference Korea 2007) 内のセッションとしてKOFST (Korean Federation of Science and Technology Societies) が後援団体となって、開催されました。IWJC-Korea 2007は、2007年5月10日(木)から12日(土)の3日間にわたって、ソウル市内江南地区にあるCOEXにて開催されました。若手シンポジウム自体は、日本側・韓国側それぞれ5名、合計10件の発表で構成されました。また、日本の隣国ということもありIWJC-Korea 2007には、非常に多数の日本人が参加しており本シンポジウム会場には、私が想像していたより多くの日本人の方が来られていたように感じられました。第1回(韓国で開催)のシンポジウムに私自身参加していないので、判らない部分もあったのですが、交流も三回目ということもあり、雰囲気も非常にアットホームな感じであったと思います。個々の発表内容に関しては、皆専門を持っておられるので、難しい部分もありましたが、逆に普段の学会発表とは異なり、専門外の内容を同年代の研究者の集まりを持って聞くという体験は、何にも代えがたいものであると感じました。また今回が私の初めての渡韓だっ

たのですが、シンポジウムの内容は当然のこと街や人々、目に入るものすべてに対して今の日本には感じられない大きな勢いを感じました。今後もこのような交流を深めることによって、相互の発展につながるモチベーションを高めていくことが重要であると思いました。ただ昨年、溶接学会春季全国大会で第2回が開催されたときは、今回のように盛況ではなく、(個人的な感想ですが)正直「次回があるのだろうか?」という不安を覚えました。しかし今回の第3回が韓国において盛況に催されたことによって、次年度も日本で継続開催するという流れがスムーズに出来上がったように思いました。次回は、溶接学会春季全国大会か8WSでの開催ということになると思われますが、その際には今回のシンポジウムに見劣りしないような形で開催できればと思っています。

また本シンポジウムとは別に、グローバルネットワーク委員会としてこれまでAWFミーティングに合わせ、アジア各国(フィリピン・マレーシア・韓国・インド・中国・タイ)でセミナー・講習会・学会発表等様々な形で、若手研究者・技術者として発表を行ってきております。今後もこの活動を発展させていくために、ご賛同いただける方や一緒に活動していただける方を募集しております。興味を持たれた方は、ぜひとも筆者までご連絡いただくようお願いいたします。筆者の電子メールでの連絡先は miyasaka@ams.eng.osaka-u.ac.jp です。

最後になりましたが、これまで様々なご援助いただきました社団法人溶接学会事務局および若手会員の会の皆さまをはじめ、社団法人日本溶接協会の皆さま、さらには本フォーラムの開催に協力いただきました関係各位には、この場を借りてお礼を申し上げます。